

めあて

本論1の筆者の「説明の技」を読み取ろう。

「説明の技その一」 《文章構成》

現状↓課題↓解決策・本論2への導入

「説明の技その二」 《資料の示し方》

⑥段落の文章を提示

⑦段落の文章を提示

エネルギー問題

課題① 化石燃料を大量に使い続けることから

起こる地球環境への悪影響

課題② 化石燃料を使いつくしてしまうこと

「説明の技」

一、現状↓課題↓解決策・本論2への導入

二、資料を使っている。

①何を示した資料であるかを書いている。

②資料を詳しく説明している。

③具体的な数字を使っている。

④伝えたい内容に合った資料を選んでる。

【3/9時間目 指導略案】 使用するワークシート「未来に生かす自然のエネルギー」③
活動のねらい

文章構成や資料の示し方に着目しながら、本論1を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 主張を行うために、筆者がどのような「説明の技」を使っているかを読み取っていくことを確認させる。

※ 読んだ人が納得するようリーフレットを作るために、筆者の「説明の技」を読み取っていくことを確認させることで、児童に読みの必然性をもたせることができます。

2 本論1の筆者の「説明の技」を読み取る。

(1) 「説明の技その一」：「現状」↓「課題」↓「解決策・本論2への導入」という順に説明していることに気付かせる。

※ 前時に文章の構成を考えさせているので、ここでは文章構成表を確認させます。（文章構成表は、教室側面等に掲示しておきます。）

(2) 「説明の技その二」：写真やグラフなどの資料を使って説明していることに気付かせる。

3 資料を活用する際の「説明の技その二」を読み取る。

○ 本論1には図①②が示されていることと、それぞれの図に対しての説明が⑥⑦段落に示されていることを確認させる。

※ ⑥⑦段落の文章を黒板に提示します。図①と図②は電子黒板で提示します。

○ ⑥段落と⑦段落を比べさせることで、図①と図②の示し方の共通する点に気付かせる。

(i) 一人で (ii) ペアで (iii) 全体で
何を示した資料であるかを書いている。
資料を詳しく説明している。

その資料から読み取れることを具体的な数字なども示しながら説明している。
伝えたい内容に合った資料を選んでる。

※ エネルギー問題における課題を提示し、筆者が伝えたい内容に合った資料を選んだ上で、円グラフの割合や折れ線グラフの変化について説明していることに気付かせる。

4 本論1での筆者の「説明の技」をまとめる。

○ 本時のめあてに戻って考えさせる。

評価 本論1の資料や具体例の示し方を読み取っている。

(イ1)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 本論2の文章構成や資料の示し方に着目しながら読み進めていくことを確認させる。